

出発地：お客様の「期待」
中継地：お客様の「満足」
目的地：お客様の「幸せ」

安心・安全のために、できることのすべてを!

安心・安全の目印、Gマークの認定を受けています。

国土交通省が推進する「安全性優良事業所」の認定制度で、安全性の高いトラック運送事業者の目印とされるGマークの認定を受けています。



デジタルタコグラフ&ドライブレコーダーを全車に完全装備。

デジタルタコグラフでドライバーの運転状況を分析し、無理な運転をさせないための指導に役立てています。ドライブレコーダーで記録した運転映像は、運転者の技術の向上や事故減少、ECO運転につなげています。



〈会社概要〉

会社名 八武崎運送株式会社
代表者 八武崎秀紀
所在地 〈本社〉
〒132-0025 東京都江戸川区松江2-26-5
TEL.03-3652-5331 FAX.03-3652-5332
〈東京センター〉
〒340-0811 埼玉県八潮市二丁目-173
TEL.048-999-7775 FAX.048-999-7785
資本金 1,000万円
設立 昭和26年4月
事業内容 一般貨物自動車運送事業／貨物運送取扱事業／
倉庫業／一部派遣業
従業員 130名
保有車両 大型車両(13t) 4台
中型車両(4t・3t) 27台
小型車両(2t) 9台



御社の物流課題にベストな解決策を提案します。ぜひ、お気軽にお問い合わせください。

八武崎運送 物流ソリューション部 TEL.03-3652-5331 (月曜～金曜日 9:00～17:00 祝日休日)

YABUSAKI TRANSPORTATION.,CO.
 **八武崎運送株式会社** <http://www.trans-yabu.co.jp>

2017年1月現在

YABUSAKI TRANSPORTATION.,CO.
 **八武崎運送株式会社**
COMPANY PROFILE

一番の道を探る。さらに良い道を創る。

安全・迅速・確実な輸送はもちろん、八武崎運送は一人ひとりのスタッフの技術とまごころを尽くして、荷主さまのご要望にお応えします。さらに、常にコストパフォーマンスやスピード、効率性の向上を追求し、革新的なアプローチで、新しい物流の可能性を切り拓いています。

物流コンサルタント

荷主さまのニーズに合わせて、最適なプランとサポートを提供します。



荷主さまに合った最適な物流を提案します。

運賃やサービス水準など、不明な点が多い物流業界ですが、八武崎運送は長年の実績で蓄積した膨大な情報と多彩なノウハウを開示し、物流コンサルティングを行っています。現在のコストやサービス、相見積もりに関する評価額から、最適な物流体系構築まで、幅広くアドバイスいたします。



デジタルピッキングによる流通加工に対応。

複数店舗同時摘み取り可能なデジタルピッキング方式を導入し、1000アイテム以上の仕分け、梱包作業の確実&迅速な処理を実現。作業時間の短縮やコストの削減、納品のスピード化に対応します。



倉庫・梱包事業で新製品開発をサポート。

新製品開発などの新事業構築には、新たな在庫管理体系が必要です。八武崎運送は「危険物」をはじめ、「多品種少量」「短納期」といった条件による、管理が難しい製品の効率的な保管・入出庫を実現するノウハウとシステムを体系化。さらに、品質変化を防ぐ各種梱包などの作業体制も整え、輸送・配送まで一貫したサポートを展開します。



BtoB(企業-企業)も、BtoC(企業-消費者)も。

八武崎運送は、BtoB(企業-企業)だけでなく、ネットスーパーの宅配業務をはじめとするBtoC(企業-消費者)の軽貨物運送事業もを行っています。これまで以上にドライバーに対する教育制度の充実・強化を図り、エンドユーザーに満足のいくサービスを提供しています。

ネットワークでつなぐ! 運ぶ! 届ける!

一社単独では対応が難しい案件も各地のさまざまな物流関連事業者とグループ化を図ることで解決しています。

スピードを解決!

スピーディな対応が求められる際は、グループのネットワークから必要な車両を迅速に検索&稼働させます。

コストを解決!

グループで物流情報を共有することで効率的な車両の稼働を実現し、コストを抑えることができます。

サービスの質を解決!

グループで高い基準を設け、サービスの質を向上しています。

物流ビフォー→アフター

荷主さまのニーズに対する八武崎運送の解答。その3つの例をご紹介します。

case 1 食品メーカーAさまの場合

〈ビフォー〉

常温・冷蔵・冷凍の食品を別々に運送しており、手間も人員もそれぞれに必要でした。

声 もうちょっと効率的に運ぶ方法はないだろうか?

〈アフター〉

3ブロックで仕切れるようにトラックを特別に改造しました。これにより、それぞれの食品を一度に運搬することが可能になりました。さらに、コンピュータで温度調整ができるシステムを開発。積み降ろしの場所や食品の量に左右されない温度管理が実現しました。



case 2 塗料メーカーBさまの場合

〈ビフォー〉

塗料の入ったドラム缶は、トラックで運ぶ行程よりも倉庫内を移動させるほうがたいへんでした。

声 クレーンやフォークリフトを扱えるスタッフが必要なんだけど...

〈アフター〉

重機取扱いの有資格者を派遣。さらに人員が必要な場合は、他のスタッフに資格を取得させて増員しました。運送と庫内の移動作業、保管管理を一貫して行うことで物流全体のスピードや効率も飛躍的に向上しました。



case 3 ドラッグストアCさまの場合

〈ビフォー〉

店舗側に在庫スペースが足りず、運ばれてきた商品を保管する場所がありませんでした。

声 売れ筋はすぐに店頭に出したいが在庫スペースもないし...

〈アフター〉

八武崎運送側で薬品専用の保管スペースを確保。必要があればすぐに品出しできる体制を整えました。さらに、在庫の保管・管理、販売分析まで請け負い、店舗側に適切な仕入れの量やタイミングをアドバイスできるようになりました。

